

ウェイアンドアイ フォーラム 第2回 レポート

開催日時: 2015年1月27日(火) 13~17時
会場: NEC本社ビル43階 共創型ワークショップスペース
参加人数: 19名
主催進行: 株式会社ウェイアンドアイ 代表取締役社長 馬橋 和弘

- 第1部 : ゲストスピーカー講演1 「花王ウェイができるまでと活用のポイント」
花王株式会社 コーポレート・コミュニケーション部門 花王ウェイ担当 下平 博文 氏
- 第2部 : ゲストスピーカー講演2 「経営理念とアイデンティティ」
首都大学東京 大学院ビジネススクール 教授 高尾 義明 氏
- 第3部 : ワークショップ 「自分と理念の接点を見つけよう」
株式会社ウェイアンドアイ 代表取締役 栗野 智子



■オリエンテーション



【今の気持ち、ゲー・パーで表現!】

今回もスタート前からなごやかな雰囲気の中で歓談や名刺交換が行われていました。
会場はNEC本社ビル43階の共創型ワークショップスペース。素晴らしい眺めです!
13時にフォーラムがスタート。

まずはじめに、今の仕事の充実度を手上げ(ゲー・パー)で表現しました。
その上で隣に座った方とお互いのゲー・パーの理由をシェアしました。
ちょっとした会話のきっかけによって自然と笑みがこぼれ、お互いの距離が近くなるものですね。



【一人ひとことタイム、目的・期待の共有】

続いて、前回同様、テーブル内で「一人ひとことタイム」です。
社名・お名前、参加の目的や期待を共有しました。
ここで初めて参加された方もすぐに打ち解けていました。
花王株式会社の下平さんの講演、
首都大学東京の高尾先生の講演に向けて、
期待もさらに高まりました。



■第1部 ゲストスピーカー講演1

「花王ウェイができるまでと活用のポイント」 花王株式会社 コーポレート・コミュニケーション部門 花王ウェイ担当 下平 博文 氏



下平さんとは、以前ウェイマネジメントフォーラムでのジョイント講演でのご縁から今年で5年目のお付き合いです。
今回は主催者としても、お聞きするのが待ち遠しかった講演です。
まずは、花王ウェイができるまでの経緯、そして、特徴として「創業以来の変わらぬ精神・規範の確認」「最初から英語を意識して作成された」ということが語られました。
お聞きして、特に印象的だったのは、初代社長時代の新聞広告の文面の内容が今の時代でも通用すること。
まさに、100年経ってもその本質は変わらなかったとお話でした。



続いて、花王ウェイを社員に共有していくためのワークショップの紹介をしていただきました。参加者も大変興味あるところでした。
目的・特徴・内容・効果・そして展開してみたいの気づきなど、参加者の間でも多くの学びが共有できました。
印象的だったのは、上からのトップダウンの「浸透」ではなく、職場のリーダーの主体性に任せる。だから「共有」という言葉を使っているというお話でした。
「一人ひとり、理念との距離は違う。理念とは筋の良い問いかけである」という言葉に、長年花王ウェイに携わってきた下平さんの想いや姿勢が自然とにじみ出ていました。

■第2部 ゲストスピーカー講演2

「経営理念とアイデンティティ」 首都大学東京 大学院ビジネススクール 教授 高尾 義明 氏

高尾先生は経営組織論、組織行動論が専門。今回は「経営理念とアイデンティティ」と題してご講演いただきました。途中、問いやエクササイズをはさみながら進行しました。

1. 会社にとっての理念

経営理念の定義、経営理念の機能、そして理念浸透のイメージ、さらには理念浸透がもたらす社員の行動変化などをわかりやすくお話しいただきました。特に興味深く印象的だったのは、「経営理念とは意図的に提示された組織アイデンティティと捉えることができる」という点です。気づきの多いお言葉でした。

2. 理念「学習」の壁

「認知から理解」、「理解から行動」、「行動から定着」の3つの壁をご紹介いただきました。その上で、理念浸透に向けた3つのカギ、「組織メンバーとしての誇り・一体感」「職場環境」「組織的浸透施策」を共有いただきました。

3. 社員個人にとっての理念

個人における理念浸透のプロセスとして、「経営理念」、「組織アイデンティティ」、「メンバー個人のアイデンティティ」が融合していく状態を図解で共有いただきました。過去3年にわたり、理念経営研究会で探究を深めてきましたが、今回の高尾先生の講演は新たな探究のきっかけとなりました。



■ブレイクタイム



新年を祝うお菓子・ガレット・デ・ロワをご用意しました。等分に切り分けられたパイの中に、一つだけ当たりの陶器が入っているという趣向です。当たりの人には高尾先生から王冠が授与されました！ウェイアンドアイフォーラムでは毎回用意されるお菓子も楽しみの一つです。こういう新たな出会いや心の交流の空間も大事にしていきたいと考えています。



■第3部 ワークショップ

「自分と理念の接点を見つけよう」 株式会社ウェイアンドアイ 代表取締役 栗野 智子

ブレイクタイムで当社の栗野が当たりを引いてしまい、王冠をかぶったままの登壇となりました。今までにない新しいファシリテーションスタイルですね(笑)。

第1・2部の講演を受けて、第3部は自分ごとにさらに落とし、実践版としてのミニワークショップ。個人のアイデンティティと理念の重なりを見つけるワークに全員で取り組みました。自分の中でじっくり考え、時にテーブルを囲んで熱心に語り合い、あっという間に時間が過ぎていきました。

【ワークをしてみてください】

- ・自らの働く意義を明確にし、企業理念の結び付きを探ることは初めての体験で新鮮
 - ・内省と他者への発信により、自分のアイデンティティや考えが整理された
 - ・とても参考になるワーク
- などの感想が交わされていました。

【最後に】

今回は現場事例、理論、自社自分への落とし込みがストーリーとなった展開となりました。

最後に「気づきと学び」「ビジネス現場で実践したいこと」を熱心にまとめている参加者の皆さんの姿が印象的でした。



下平さん、高尾先生、
ありがとうございました！

【参加者の声】

- ・企業理念は浸透させることも必要だが、共有していくことが大事であることを新たに学びました。
- ・高尾先生に体系的に説明していただき、理念の機能と効果が明確になりました。
- ・理念学習における壁をクリアする方法をさらに深く学びたい。
- ・花王王様の事例からプロセスと共有の方法を学びました。ぜひ自社で活かしていきたい。
- ・参加した皆さんの積極的な姿勢が印象に残りました。
- ・理念浸透のボトルネックの可視化ができました。
- ・理念共有に関して、社外の方々の知見を得たことにより、自社の活動の有用性を客観的に振り返ることができた。
- ・良い内省と素晴らしい刺激の機会をありがとうございます。
- ・定期的な学び・気づき・創発ができる新鮮な場はやはり大切と実感しました。ご縁に感謝です。

ご参加の皆さん、ありがとうございました。次回もお待ちしております！

写真：井上正己